

「わくわく理科」指導用デジタル教科書の活用に係る研修会

平成28年11月24日（木） 庄原市立川北小学校

「平成27年度に導入した、小学校理科教科書に準じた指導用デジタル教科書の内容や授業における活用方法について周知し、各小学校における有効利用を促進することを通して、理科の授業改善を図る」ことを目的に、研修会を開催しました。

【講話・演習1】「指導用デジタル教科書の基本的内容と操作、授業における有効活用について」

新興出版社啓林館 太田 祥代 様

【概要】指導用デジタル教科書の基本的な内容や機能、操作方法について、講師に説明していただいた。参加者は、グループに分かれて操作体験を行い、当該教科書の理解を深めた。



【参加者の振り返りより】

- ・「デジタル教科書の使い方」や「おすすめのポイント」に係る資料をもとに校内で共有し、活用できる環境を整えたい。
- ・まずは、担任が実際に操作して内容や機能の特徴を実感することが大切だと思った。有効活用するためにも校内研修において、職員に周知したい。
- ・目的やねらいに応じて機能やコンテンツを活用したいと思った。
- ・理科室に常設できれば活用しやすいと思った。

【講話・演習2】「実践交流」

庄原市教育委員会 指導主事 佐々木 孝

【概要】事前アンケート結果及び「講話・演習1」の内容、「実践交流」を踏まえ、理科の目標達成のために、指導用デジタル教科書を効果的に活用することについて確認した。



【参加者の交流より】

- ・小規模校においても効果的に活用できることが分かった。
- ・理科室に常設することで、毎時間活用している。
- ・デジタル教材を使用することで、効率よく、学習が進められている。

【講話3】「指導用デジタル教科書の授業における有効活用について」

新興出版社啓林館 太田 祥代 様

【概要】授業における活用について、先進校における実践や有効なコンテンツについて例示していただいた。



【参考になる点】

- ・導入時、既習事項を視覚化して確認することがしやすい。
- ・教科書の拡大画面に書き込みながら発表ができる。（発表ツール）
- ・拡大表示により、考えさせたい点を焦点化できる。 等